

第 1 回 こども安全対策分科会会議録	
日 時	平成29年 7 月 25 日 (火) 午後 2 時から午後 3 時 30 分まで
開催場所	栄区役所本館 4 階 2 号会議室
出席者	片岡、星野、岡田、中丸、岡、本田、白水、藤森、五十嵐 (敬称略) 事務局：根本、古橋、服部
議 題	1 あいさつ 2 議事及び報告 (1) 再認証までのスケジュール (2) こども安全対策分科会の取組について (3) 学校アンケートの結果について 3 意見交換 4 その他、情報共有
議 事	1 あいさつ 2 議事及び報告 (1) 再認証までのスケジュール 事務局から、9月の事前指導の進め方を中心に、今後のスケジュールを説明した。 (2) 分科会の取組について 事前指導で発表するプレゼンテーション資料の内容を委員へ説明し、各取組への理解を深めた。 (内容) ・乳幼児の事故予防に向けた養育者への啓発 →これまでの取組(啓発物の配布、アンケート実施)を継続していく。 ・子どもの事故予防に向けたKYT(危険予知トレーニング)の実施 →子ども会における取組をさらに広げ、小学校低学年の利用が多い放課後を過ごす施設でのKYTの実施を関係団体へ依頼した。 ・地域の住民による見守り活動 →各地域での取組を継続し、子どもと地域の大人との関係づくりが進められていることを、子どもたちへのアンケート(学校アンケート)で検証する。 (3) 学校アンケートの結果について 28年度に実施した学校アンケートの集計結果を報告した。 (対象 小学校3校：5年生 259人、中学校2校：2年生 248人) 3 意見交換 ・けがの原因は、コミュニケーション不足であることが多いため、言葉を掛け合って防ぐことも大事である。 ・子育てひろばでも、親子の体操を行っている。 ・保育園と小学校との連携は重要であり、乳幼児期に遊びの体験からさまざまな事を学んでいくため、いい形で小学校に引き継ぎたい。 ・地域子育て支援拠点では、啓発用のクリアファイル(乳幼児の事故予防)を活用して拡大版を掲示し、利用する養育者へ説明している。 ・「こども 110 番の家」は、集団下校の時に場所を確認している。また、登下校の際に、大人から声掛けをすることも必要である。 4 その他、情報共有 事務局にて、幼児期の運動遊びのチラシを作成中である。
資 料	1 委員名簿 2 事前指導の開催について(通知) 3 プレゼンテーション資料、平成29年度の取組について 4 28年度 学校アンケート集計結果

第2回 こども安全対策分科会会議録	
日 時	平成30年2月27日（火）午後2時から午後3時30分まで
開催場所	栄区役所本館3階3号会議室
出席者	片岡、中丸、岡、森（代理）、本田、藤森、五十嵐（敬称略） 事務局：根本、古橋、服部
議 題	1 あいさつ 2 議事及び報告 (1) 事前指導（平成29年9月実施）報告 (2) 再認証（現地審査）までのスケジュール (3) 各種取組報告 3 意見交換 4 その他、情報共有
議 事	1 あいさつ 2 議事及び報告 (1) 事前指導報告 事務局から、9月に実施された事前指導の内容や審査委員からの質問事項等を報告した。 →当日、審査委員から、「こども110番の家」について質問があったため、中丸委員から現状の説明があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・1月に幹事会を開催し、グループワークを行った。 ・駆け込み事例が過去に1名あったという情報もあるが、実際は犯罪抑止力の効果大きい。 ・新規登録者には、3月にお礼状を渡す予定であり、顔の見える関係づくりに役立っている。 ・「こども110番の家」を再周知するように、学校にもPTA幹事会から依頼した。 ・平成13年から実施している本事業は課題も見えてきて、登録家庭の状況の変化もあり、プレートを下げてもらう家庭もある。 (2) 再認証（現地審査）までのスケジュール 事務局から、6月中旬に実施される現地審査の日程や当日スケジュールの概要を説明した。詳細は決まり次第、別途連絡する旨を伝えた。 (3) 各種取組報告 3の意見交換に含む 3 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・「こども110番の家」の見直しの必要性を感じた。 ・保育園では、散歩の時間に、就学に向けて「こども110番の家」の場所を確認している。子どもたちだけではなく、親にも認識を深めてもらい、親から子へ伝えることが重要である。 ・あいさつ運動は、特別なことではなく、習慣化させることが必要である。 ・地域子育て支援拠点では、啓発用のクリアファイル（乳幼児の事故予防）を活用している。強化月間を設けて、チェックリストをみんなで実施したり、誤飲チェッカーで危険を認識するなど、繰り返し行っている。 ・子育てに悩む母親たちの話を聞いてあげるだけでも、子育て支援になる。 ・子どもたちが地域のイベントに参加するきっかけづくりが必要であるが、なかなか難しい。（子どもたちが主体的に活動できるイベント企画など） 4 その他、情報共有 委員が登壇するフォーラムの案内
資 料	1 委員名簿 2 事前指導プレゼンテーション資料 3 現地審査の開催について（通知）

第1回 スポーツ安全対策分科会 会議録	
日 時	平成29年6月22日（木）午後7時から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	委員：清水、白川、小島、矢合、安本、高城、山上、片岡、西村、磯川、後藤 栄区役所（地域振興課）：早乙女、宍戸、法村 （欠席者：末村）
議 題	1 座長の選出について 2 再認証に向けた事前指導の開催について 3 アンケートの再実施について 4 平成29年度の分科会企画講習会について 5 広報よこはま2月号SC講座への取組掲載について 6 平成29年度 スポーツ安全対策分科会の活動計画について
議 事	1 座長の選出について 互選により、栄区体育協会から清水正美会長が座長として選出された。 2 再認証に向けた事前指導の開催について 区役所から事前指導について説明があった。当日の説明者は座長、説明者以外の委員も当日は原則出席することが承認された。 3 アンケートの再実施について 昨年度までに分科会委員やサーベイランス分科会から意見があったアンケートの再実施について、今年度実施することが決定した。（実施は10月） 4 平成29年度の分科会企画講習会について スポーツ安全対策分科会企画講習会の概要が決定した。 開催日時：平成29年10月21日（土）午前10時～12時 会場：栄スポーツセンター第1体育室 内容：正しい歩き方を習得することで体幹を鍛え、転倒や接触等を回避できる体づくりを目指す。 対象・定員：年齢制限なし、100人程度 参加費：無料 5 広報よこはま2月号SC講座への取組掲載について 10月21日に実施が決定したウォーキング講習会を取り上げ、日頃からウォーキング推進に取り組んでいる清水座長により、分科会の取組紹介をすることとなった。 6 平成29年度 スポーツ安全対策分科会の活動計画について 了承された。
確認事項	今年度の分科会開催日程について確認した。 第2回：平成29年10月26日（木）19時～ 2号会議室 第3回：平成30年2月22日（木）19時～ 2号会議室
資 料	1 セーフコミュニティパンフレット 2 各構成団体実績・計画資料 3 平成29年度 栄区セーフコミュニティ推進協議会資料

第2回 スポーツ安全対策分科会 会議録	
日 時	平成29年10月26日（木）午後7時から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	委員：清水、白川、小島、矢合、安本、山上、片岡、磯川、後藤 栄区役所（地域振興課）：早乙女、宍戸、法村 （欠席者：高城、西村、末村）
報告事項	1 事前指導の報告について 2 分科会企画講習会の実施報告について 3 各構成団体からの共有事項について 4 アンケートの再実施について
議 題	1 広報よこはま栄区版2月号への掲載内容案について 2 分科会だよりの発行について
議 事	<p>【報告事項】</p> <p>1 事前指導の報告について 事務局からおおむね良好な評価だったとの報告があった。今後は、アドバイスされたとおり、資料のチューニングをしていくようなイメージで、根拠等をバージョンアップしていくことを確認した。</p> <p>2 分科会企画講習会の実施報告について 実施日：平成29年10月21日（土）10時～12時 会場：栄区役所新館4階元食堂スペース テーマ：「体幹を体感！バランスウォーキングだけが予防」 講師：NPO法人ウォーキング研究所 理事 駒崎 優 氏 参加人数：65人</p> <p>3 各構成団体からの共有事項について 各団体が日頃の事故・けが予防に対する取組を発表・共有した。</p> <p>4 アンケートの再実施について 各分科会構成団体を回答対象団体とする分科会アンケートの再実施について了承された。</p>
	<p>【議題】</p> <p>1 広報よこはま栄区版2月号への掲載内容案について 了承された。</p> <p>2 分科会だよりの発行について 了承された。</p>

第3回 スポーツ安全対策分科会 会議録	
日 時	平成30年2月22(木) 午後7時から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	委員：清水、小島、矢合、高城、山上、片岡、磯川、後藤 栄区役所(地域振興課)：早乙女、宍戸、法村 (欠席者：白川、安本、西村、末村)
報告事項	1 各構成団体からの共有事項について 2 アンケートの集計結果について 3 再認証に向けた現地審査について
議 題	1 分科会だよりの発行について 2 平成30年度スポーツ安全対策分科会企画講習会について
議 事	<p>【報告事項】</p> <p>1 各構成団体からの共有事項について 各団体から事故・けが予防の取組について報告があった。</p> <p>2 アンケートの集計結果について 現在集計中であるとの報告があった。</p> <p>3 再認証に向けた現地審査について 区政推進課からの通知について報告があった。 審査日時：平成30年6月16日(土) 10時15分～11時15分 会場：栄区役所 新館4階 8・9号会議室 リハーサル日程：平成30年5月30日(水) 13時～14時15分</p>
	<p>【議題】</p> <p>1 分科会だよりの発行について 事務局から次のとおり説明があり、了承された。 ・たよりの内容は、ウォーキングに関する取組を中心に記載している。 ・表面には分科会の取組紹介及び講習会の実施報告。 ・裏面には、講習会で学んだ5つのポイントを記載。ポイントについては、講習会講師に確認済み。</p> <p>2 平成30年度 スポーツ安全対策分科会企画講習会について 各団体でスポーツ外傷予防を実施しているため、分科会としてはウォーキングによるけが予防に関する内容で講習会を実施することで了承された。</p>
確認事項	平成30年度の分科会開催日程について確認した。 第1回：平成30年5月22日(火)

平成29年度 第1回 交通安全対策分科会会議録

日 時	平成29年4月18日(火) 午前10時30分から
開催場所	栄区役所本館3階 3号会議室
出席者	<p>委員：山田(正)、関、山田(龍)、佐々木、湖上、西川、近藤、平間、九十九澤 長谷川、三浦(敬称略)</p> <p>事務局：早乙女、吉田、塚田、樋下田</p>
議 事	<p>1 活動報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本郷台駅前自転車等放置防止キャンペーン(主催:本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成29年3月17日(金) 午前6時30分から午前9時 本郷台駅周辺放置禁止区域内 ・交通安全三世代交流大会(主催:栄交通安全母の会連絡会) 平成29年3月30日(木) 午後2時から午後4時 栄区役所新館4階8. 9号会議室 ・春の交通安全フェスティバル(主催:栄区交通安全対策協議会) 平成29年4月8日(土) 午前10時から午前11時 笠間三丁目公園 ・「交通事故死ゼロを目指す日」啓発キャンペーン(主催:栄区交通安全対策分科会) 平成29年4月10日(月) 午前10時から午前11時 環状4号線公田交差点 ・事務局が作成した平成28年度イベント等の実施・結果一覧を基に、昨年度の振り返りや意見交換を行った。 <p>2 活動計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナーアップ強化月間キャンペーン(主催:栄区交通安全対策協議会) 平成29年5月8日(月) 午前10時から午前11時 地球市民プラザ前交差点 ・二輪車交通事故防止強化月間・暴走族追放強化月間キャンペーン (主催:栄区交通安全対策協議会) 平成29年6月2日(金) 午前10時から午前11時 本郷台駅前広場 ・本郷台駅自転車等放置防止キャンペーン(主催:本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成29年6月、9月、11月、3月の各月1回実施 本郷台駅周辺放置禁止区域内 ・夏の交通事故防止キャンペーン(主催:栄区交通安全対策協議会) 平成29年7月12日(水) 午後4時から午後5時 大船駅笠間口 ・「はたらくくるまだいしゅうごう」への協力(主催:栄安全運転管理者会) 平成29年7月17日(月・祝日) 午前10時から正午 本郷台駅前広場 ・各期(期間)の交通安全運動・強化月間の交通安全運動・地域の交通安全に関する取組について、各イベント・啓発・キャンペーンを主催する委員から、実施内容や日時・場所等の説明があり、内容の確認や意見交換を行った。 <p>3 平成28年度 スクールゾーン対策協議会の対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が作成した、スクールゾーン対策協議会要望件数一覧について説明があり、確認を行った。 ・要望に対して、路面標示の補修や道路に出てしまっている樹木については、ほとんどが改善できたことを確認した。 ・改善できなかった箇所については、物理的・法律的に改善できない箇所や、小学生への日々教育による改善効果が高いと考えられる箇所等があったことについて確認し、今後もより安全な登下校ができるように、皆で検討していくことでの承した。

	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の交通安全対策分科会を、平成29年9月6日に行うことが決定した。
<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄区交通安全対策分科会報告案件及び議事案件の概要 2 平成28年度交通安全イベント実施・結果一覧 3 平成28年度実施結果の概要・記録写真 4 平成28年度スクールゾーン対策協議会要望件数一覧 5 全14校からの要望・対応一覧

平成29年度 第2回 交通安全対策分科会会議録

<p>日 時</p>	<p>平成29年9月6日(水) 午前10時50分から</p>
<p>開催場所</p>	<p>栄区役所本館3階 5号会議室</p>
<p>出席者</p>	<p>委員：森、関、山田(龍)、佐々木、湖上、西川、近藤、平間、長谷川、三浦(敬称略) 事務局：早乙女、吉田、塚田、樋下田</p>
<p>議 事</p>	<p>1 活動報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナーアップ強化月間キャンペーン(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成29年5月8日(月) 午前10時から午前11時 地球市民プラザ前交差点 ・二輪車交通事故防止・暴走族強化月間街頭キャンペーン(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成29年6月2日(金) 午前10時から午前11時 本郷台駅前広場 ・本郷台駅前自転車等放置防止キャンペーン(主催：本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成29年6月15日(木) 午前6時30分から午前9時 本郷台駅周辺放置禁止区域内 ・夏の交通事故防止キャンペーン(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成29年7月12日(水) 午後4時から午後5時 大船駅笠間口 ・はたらくくるまだいしゅうごう(主催：栄安全運転管理者会) 平成29年7月17日(月・祝日) 午前9時30分から午前11時30分 本郷台駅前広場 ・事務局より、前回の分科会(平成29年4月18日)以降行われた啓発・キャンペーンについて説明があり、内容の確認をした。 ・事務局が撮影した当日写真をもとに、当日の啓発物品の配布方法や、イベント当日の状況等について、振り返りと意見交換を行った。 <p>2 活動計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、9月27日(水)実施の秋の交通安全運動キャンペーンについて、当日の流れについて説明があり、確認をした。 ・各委員から、当日必要物品の確認や悪天候での対応についての説明があり、了承した。 ・9月29日(金)に実施の交通事故死ゼロを目指す日キャンペーンや10月12日(木)に実施の違法駐車及び放置自転車・バイククリーンキャンペーンについて当日の啓発方法や日時について確認をし、了承した。 ・10月4日実施の交通安全十五夜キャンペーンについて、昨年度は、果物の梨を配布していたが、時期的に難しいということで、配布物品が変更になる可能性があるという説明があり、了承した。 ・事務局より、昨年度栄区が「高齢者事故多発地域」に指定されたが、今年度は指定されなかったことについて説明があった。ただ、指定はされなかったものの、引き続き高齢化率の高い栄区では、高齢者の事故防止について啓発を行っていく必要があるという説明があり、了承した。 <p>3 「横浜市栄区セーフコミュニティ事前指導」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、9月9日・9月10日に行われる事前指導の当日の流れについて説明があり、確認をした。また、当日審査員に説明する資料についても説明があり、確認をした。 ・当日発表される座長から、事前指導に向けて行ったリハーサルについて、説明があり、確認をした。 ・事務局より、当日ケーブルテレビからインタビューを受ける予定になっていることの説明

	<p>があり、座長からも可能な範囲で委員についても参加してほしいと依頼があり、了解した。</p> <p>4 平成29年度スクールゾーン対策協議会の協議内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の全14校から提出された要望について、事務局が作成した一覧を基に確認をした。 ・道路標示など、すでに改善された箇所があることを、担当委員から説明があり、確認をした。 <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の交通安全対策分科会を、平成29年11月17日に行うことが決定した。
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄区交通安全対策分科会報告案件及び議事案件の概要・記録写真 2 秋の交通安全運動キャンペーン (案) 3 平成29年度交通事故死ゼロを目指す日キャンペーン (案) 4 平成29年度違法駐車及び放置自転車・バイククリーンキャンペーン (案) 5 交通安全十五夜キャンペーン実施計画書 6 「高齢者交通事故多発地域」の指定について【参考】 7 平成29年度栄区セーフコミュニティ事前指導当日の流れについて 8 事前指導当日パワーポイント資料 9 平成29年度スクールゾーン対策協議会要望・対応一覧

平成29年度 第3回 交通安全対策分科会会議録

日 時	平成29年11月17日（金）午前10時30分から
開催場所	栄区役所本館3階 5号会議室
出席者	<p>委員：森、山田（正）、関、山田（龍）、小野、田中、西川、 近藤、駒田、長谷川、三浦（敬称略）</p> <p>事務局：早乙女、吉田、塚田、樋下田</p>
議 事	<p>1 活動報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本郷台駅自転車等放置防止キャンペーン（主催：本郷台駅自転車等放置防止推進協議会） 平成29年9月22日（金）午前6時30分から午前9時 ・秋の交通安全フェスティバル（主催：栄区交通安全対策協議会） 平成29年9月27日（水）午前10時から午前11時15分 ・「交通事故死ゼロを目指す日」街頭キャンペーン（主催：栄区交通安全対策協議会） 平成29年9月29日（金）午前10時から午前11時 公田交差点 ・交通安全十五夜キャンペーン（主催：栄交通安全母の会連絡会） 平成29年10月4日（水）午後3時から午後4時 ・違法駐車・放置自転車・バイククリーンキャンペーン （主催：栄区交通安全対策協議会・自転車等放置防止推進協議会） ・事務局より、前回の分科会（平成29年9月6日）以降行われた啓発・キャンペーンについて説明があり、内容の確認をした。 ・事務局が撮影した当日写真をもとに、当日の啓発物品の配布方法や、イベント当日の状況等について、振り返りと意見交換を行った。 ・田中委員から、10月4日に行われた「交通安全十五夜キャンペーン」について当日の状況について説明があった。 <p>2 活動計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、12月15日（金）に行われる「年末の交通事故防止街頭キャンペーン」について当日の流れについて説明があり、当日の実施内容や、必要物品について情報共有を行った。森委員・関委員より、同日13時半から「飲酒運転大根絶キャンペーン」が行われることの説明があった。 ・田中委員より、12月13日（水）に行われる「交通安全クリスマスキャンペーン」の実施について説明があった。また、さまざまな四季のイベントに合わせて今後もキャンペーンを行っていく予定であると説明があった。 ・事務局より、「春の全国交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について、今回は本郷小学校を使用してのキャンペーンを予定していること、日程は4月7日（土）であることの説明があった。 ・各委員から、意見を基に、学校のグラウンドで「スケアードストレート」が実施できるようであれば、今回も行うことで意見を一致した。 <p>3 栄区で発生した死亡事故について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄警察署より、区内で10月23日（月）と11月8日（水）に起きた交通死亡事故について説明があり、内容を確認した。 ・西川委員から、事故にあった方の共通点について質問があり、栄警察署から「今回の2件

	<p>については、いずれも高齢者の方が被害にあったこと、中央分離帯があり、明らかに横断してはいけないところを歩行したことが原因だ」と回答があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員からの今回の事故について「近くに横断歩道があるにもかかわらず、そこを通らず、無理に横断することで起きた事故である。」「健康な高齢者ほど、自分は渡り切れると考え横断しているように見える。」などの意見があり、今後の課題であると認識を一致した。 <p>4 「横浜市栄区セーフコミュニティ事前指導」の講評について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、平成 29 年 9 月 9 日・10 日に行われた事前指導について、栄区全体の講評について説明があった。テイル・ハンソン審査員とチョ・ジュンビル審査員から、「現時点で何が課題かということしっかり分析できている。」や、ストーリーという言葉を使って、「自分たちの抱えている問題点と改善点を示し、それについて振り返りをきちんと行っている。常に振り返りを行うことで、新たな課題の発見があり、それによって今後に向かってどう行動するか、そのストーリーが大切だ。」といった意見があったと説明があり、確認をした。 <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の交通安全対策分科会を、平成 30 年 2 月 2 日に行うことが決定した。
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄区交通安全対策分科会報告案件及び議事案件の概要・記録写真 2 年末の事故防止街頭キャンペーンについて 3 栄区交通安全功労者（団体）表彰概要に基づく、候補者推薦について 4 栄区交通安全功労者（団体）表彰要綱 5 推薦書（様式 1・様式 2） 6 「春の全国交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について 7 交通安全クリスマスキャンペーン実施計画書 8 平成 29 年度 交通安全イベント実施・結果一覧

平成29年度 第4回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	平成30年2月2日(金) 午前10時30分から
開催場所	栄区役所本館3階3号会議室
出席者	委員：山田(正)、関、山田(龍)、小野、西川、湖上、近藤、平間、駒田、九十九澤、長谷川、三浦(敬称略) 事務局：早乙女、吉田、塚田、樋下田
議 事	<p>1 報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全クリスマスキャンペーン(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成29年12月13日(水) 午後3時から午後4時 本郷台駅前広場 ・飲酒運転大根絶キャンペーン(主催：栄交通安全協会) 平成29年12月15日(金) 午後1時から午後1時30分 環状4号線区役所入口交差点 ・年末の交通事故防止(飲酒運転根絶強化月間)街頭キャンペーン (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成29年12月15日(金) 午後3時から午後4時30分 本郷台駅前広場 ・新年交通ミニ凧キャンペーン(主催：栄交通安全協会) 平成30年1月10日(金) 午前10時から午前10時30分 本郷台駅前広場 <p>2 議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春の全国交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成30年4月7日(土) 午前10時から正午 横浜市立本郷小学校 ・「交通事故死ゼロを目指す日」啓発キャンペーンについて (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成30年4月10日(火) 午前10時から午前11時 環状4号線公田交差点 ・交通安全節分キャンペーン(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成30年2月2日(金) 午後3時から午後4時 本郷台駅前広場 ・本郷台駅自転車等放置防止キャンペーン(主催：本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成29年3月下旬 午前6時30分から午前9時 本郷台駅周辺放置禁止区域内 ・交通安全三世代交流大会(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成30年3月29日(木) 午後2時から午後4時 栄区役所新館4階8・9号会議室 <p>3 平成29年栄区内の交通事故発生状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄警察署より、平成29年中の交通事故の発生状況について報告があった。 また、栄区で発生した死亡事故は2件で、共に高齢者が横断歩道のないところを横断したため、バイク・自動車に接触した事故だったと説明があった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、栄区の高齢者免許返納件数は、年々増加傾向にあると説明があった。より返納してもらえようとするために、タクシー代が減額されるなどの特典が付けられないかという意見があったが、タクシー協会もギリギリの価格で運営しているため、そのような特典は難しいとのこと。栄区は、他の区に比べて高齢者の免許保有率が1番だと栄警察署から説明があり、チェックシートなどを使って、返納するきっかけになればということを確認した。 <p>4 啓発物品の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、現在作成している自転車ヘルメット着用促進チラシ・回覧板についてデザインが示され、内容を確認した。 <p>5 再認証に向けた今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、来年度に行われる本審査が、平成30年6月15日（金）から平成30年6月17日（日）に決定したこと、審査員が事前指導と同じ審査員であること、再認証をできた場合、式典を平成30年10月6日（土）に行われることについて説明があり、それに向けて、協力していくことで一致した。 <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄区では、自転車による事故や高齢者の事故の割合が、県内に比べても多いことから、引き続き、ヘルメットの着用の促進や高齢者を対象とした取組の重要性について確認した。
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 報告案件及び議事案件の概要 2 「春の交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について 3 交通安全節分キャンペーン実施計画書 4 交通安全三世代交流大会 5 平成29年12月末の栄警察署管内交通事故発生状況 6 啓発物品のデザイン 7 再認証に向けた今後のスケジュールについて

1 自己紹介

- ・主任児童委員：宮崎さん、北野さん ・子育て支援拠点にこりんく：五十嵐さん、古川さん
- ・社協：岩田さん ・区こども家庭支援課：角谷係長、佐藤さん、鯉渕さん、湯浅

2 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

3 平成 29 年度活動について

(1) さかえっ子の笑顔ひろげ隊活動紹介チラシの見直し

- ・事務局メンバーは小さくして表面へ記載する。
- ・啓発用グッズの 3 点セットについては写真を掲載する。
- ・写真は最新データに差し替えをする。
- ・ひろげ隊の活動紹介とは別に「いのちの授業」の内容が分かるチラシを作成する。
(胎児模型の写真、妊婦体験、沐浴の写真等、視覚的に様子がイメージしやすいようなチラシを作成する)

(2) 「あかちゃんふれあい体験 (いのちの授業)」についての依頼

- ・5 月の中学校長会で「赤ちゃんふれあい体験」PR と「いのちの授業」希望あれば出前講座を行うことを周知した。しますと話した。
- ・育児教室版の赤ちゃんふれあい体験については、対象者である中学生が興味を持ちやすいものに見直しをする。
- ・今後のスケジュール
6 月 26 日 中学校長会で育児教室版の周知
7 月 児童支援・生徒指導専任会で育児教室版の周知
6 月 19 日 主任児童委員会でインフォメーション
→各地区の主任児童委員から各学校にチラシ配布してもらい周知を行う。
申込〆切は夏休み前とする。

(3) 栄区民生委員児童委員協議会での啓発について

- ・さかえっ子の笑顔ひろげ隊の周知、子育てアンケートのまとめの報告を実施する。
→11 月以降各地区に訪問する時に資料が間に合うよう作成する。
各地区の定例会にこども家庭支援課職員の出席を依頼する。10 月の区民児協で依頼し、11 月以降に訪問する。

4 今後の活動について

- ・セーフコミュニティ事前指導について
9 月 9 日か 10 日に予定されている。分科会メンバーもできれば参加していただきたい。
プレゼンテーションは座長である宮崎さんが行う。

5 次回事務局会議

- ・7 月 20 日 (木) 15:30～ 新館 2 階 202 号

平成 29 年度 第 2 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊事業 事務局 議事録

平成 29 年 7 月 20 日 15:30～新館 2 階

1 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

2 啓発活動について (今後予定)

日時	内容	場所	配布数
6 月 22 日	児童虐待防止連絡会	区役所	18
8 月 4 日	赤ちゃんふれあい体験 (中野)	中野ケアプラザ	
8 月 18 日	赤ちゃんふれあい体験 (小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	
8 月 23 日	赤ちゃんふれあい体験(笠間)	笠間ケアプラザ	
9 月 日、日	孫育て講座		
11 月 11 日	区民祭り	本郷中学校	
11 月	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	

3 育児教室版「あかちゃんふれあい体験」参加申し込み状況

8 / 4 中野地域ケアプラザ 3 人 ⇒北野さん・古川さん・湯浅 (主任児童委員高橋さん)

8 / 18 小菅ヶ谷地域ケアプラザ 2 人 ⇒宮崎さん・佐藤 (民生委員 2 名)

8 / 23 笠間地域ケアプラザ 2 人 ⇒ (主任児童委員青さん・勝島さん) 田中

当日は 9 : 30 に 会場集合

生徒への事前連絡は区から実施する。

参加者へ用意する物品 : SC 関連記念品・賞状・ハンドタオル・バック・お水・アンケート

4 今後の活動について

9 月 校長会で「授業版いのちの授業」チラシを用いて周知を行う。その時に 8 月の「育児教室版
赤ちゃんふれあい体験」の報告も実施する。

9 月 19 日 主任児童委員会に児童支援・生徒指導専任の先生が参加するため、その場でも「赤
ちゃんふれあい体験」について周知を行う。

要調整事案 : 地区民児協訪問への訪問依頼時期については 10 月かそれ以降か調整する。

5 次回日程

9 月 12 日 (火) 15 : 30 ~

平成 29 年度 第 3 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊事業 事務局 議事録

平成 29 年 9 月 12 日 15:30～ 新館 2 階

1 前回事務局打ち合わせの確認(7月議事録参照)

2 啓発活動について

日時	内容	場所	配布数
6月22日	児童虐待防止連絡会	区役所	22
8月4日	赤ちゃんふれあい体験(中野)	中野ケアプラザ	20
8月18日	赤ちゃんふれあい体験 (小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	11
8月23日	赤ちゃんふれあい体験(笠間)	笠間ケアプラザ	17
9月 日、日	孫育て講座		
11月11日	区民祭り	本郷中学校	
11月	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	
9月2日	ステーション祭り	ステーション	400
12月10日	虹のふれあいコンサート	公会堂	350 予定

3 「育児教室版あかちゃんふれあい体験」の実施結果

- 8/4 中野地域ケアプラザ 3人(小山台中2名)(西本郷中1名)
- 8/18 小菅ヶ谷地域ケアプラザ 2人(小山台中1名)(西本郷中1名)
- 8/23 笠間地域ケアプラザ 1人(西本郷中1名)

4 今後の活動について

- ・9月19日 中学校長会で「授業版赤ちゃんふれあい体験(いのちの授業)」について
議題提出予定
→同日午後に予定されている主任児童委員会で児童支援・生徒指導専任の先生へ宮崎さんかも周知を行う。小学校専任の先生もいるので小学校にも配布し、取組について知っていただく。
- ・西本郷中学校での「いのちの授業」が2月26日午前に決定した。2・3時間目の10時～11時45分(2コマ)利用し実施。中学校3年生全クラス(4クラス)を対象とする。
- ・小山台中学校も実施を検討中。

5 その他

- 区民まつりでの啓発活動・配布物について（11/11）
→五十嵐さん、古川さん、佐藤PHN、湯浅PHN。宮崎さん、北野さん欠席。
配布用バックに入れる配布物あれば10月末まで佐藤PHNまで持参する。
500セットを用意する予定。
- 広報について
→広報よこはま栄区版11月号にSC児童虐待予防対策分科会の活動を紹介する。
児童虐待防止月間とあわせ掲載。
- 地区民児協への訪問
→他課との調整中。
- 子育てアンケート集計進捗について
→集計作業があと少しで終了。細かい分析はこれから行うので、結果をみて意見をいただきたい。

6 次回日程

11月24日（金）15：30～

平成 29 年度 第 4 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 議事録

平成 29 年 11 月 24 日 15:30～

1 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

2 啓発活動について

日時	内容	場所	配布数
6 月 22 日	児童虐待防止連絡会	区役所	22
8 月 4 日	赤ちゃんふれあい体験 (中野)	中野ヶアプ°ヲサ°	20
8 月 18 日	赤ちゃんふれあい体験 (小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ヶアプ°ヲサ°	11
8 月 23 日	赤ちゃんふれあい体験(笠間)	笠間ヶアプ°ヲサ°	17
9 月 2 日	ステーションまつり	ステーション	400
9 月 22 日 29 日	孫育て講座	にこりんく	50
11 月 11 日	区民祭り	本郷中学校	500
11 月	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	
12 月 10 日	虹のふれあいコンサート	公会堂	

3 区民まつりについて

区民まつりでもらったチラシを見て虹のふれあいコンサートの問い合わせが、にこりんくに入る等、手ごたえがあった。配布中に児童虐待の啓発であることを伝えたところ年配の男性から「それはいらない」と断られることもあった。

4 子育てアンケート集計について

- ・ 1 月、2 月の地区民児協の定例会でアンケート結果を報告する。
- ・ 結果と合わせて、各地区の児童虐待の状況等地区情報も併せて報告を行うことを検討する。
- ・ 児童虐待のことを詳しく知らない民生委員もいる。
- ・ 主任児童委員も自宅から遠いケースは民生委員に見守り依頼することもあるため、地区の子どもの状況を伝えたい。また必要時見守りを依頼することを伝える。
- ・ 11 月児童虐待防止月間でのオレンジリボン着用のお礼も伝える。

5 中学校でのいのちの授業について

- ・ 西本郷中学校「いのちの授業」は 2 月 26 日に予定。
- ・ 小山台中学校で道徳の時間に妊婦体験など行った。区から妊婦ジャケット等の貸し出しを行った。今回は貸し出しのみで学校単独で実施したが、生徒たちは興味を持ってきていた。
- ・ 本郷台小学校は外部講師を頼んで 4 年生でやっている。
- ・ 本郷中学校にも打診しているが、実施までは難しい可能性がある。

次回 平成 30 年 1 月 18 日 15:30～

平成 29 年度 第 5 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 議事録

平成 30 年 1 月 18 日 15:30～ 新館 2 階

1 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

2 啓発活動について

日時	内容	場所	配布数
6 月 2 2 日	児童虐待防止連絡会	区役所	2 2
8 月 4 日	赤ちゃんふれあい体験 (中野)	中野ケアプラザ	2 0
8 月 18 日	赤ちゃんふれあい体験 (小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	1 1
8 月 23 日	赤ちゃんふれあい体験(笠間)	笠間ケアプラザ	1 7
9 月 2 日	ステーションまつり	ステーション	4 0 0
9 月 日、日	孫育て講座		
11 月 11 日	区民祭り	本郷中学校	5 0 0
11 月	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	1 0 0
12 月 10 日	虹のふれあいコンサート	公会堂	3 0 0
1 月 16 日	豊田子どもの居場所づくり勉強会		1 9

3 西本郷中学校授業について

別添資料：いのちの授業（案）参照

- ・参加者の人数から考えて、妊婦ジャケットは 10 セット必要
→近隣区（戸塚等）から借りれるか調整する。
- ・赤ちゃんふれあいの協力者（母子）は時期的なことも考えると最低でも 2 0 ～ 2 5 組は集めたい。
→子育て支援者会場、にこりんく等で協力を呼び掛けていく。
- ・スタッフ数は雇用助産師 2 名 アルバイト看護師 1 名、にこりんく 2 名、区職員 5（角谷係長、佐藤、小野、田中、湯浅）
主任児童委員の人数については 2 月の定例会で最終確認するが、現時点で 12 名予定。
学校からはクラス担任と養護教諭が従事する。
- ・赤ちゃんふれあい体験の時間は 20 分程度（まとめ時間 5 分程度含め）
- ・ホールは使用しないできないか。
- ・協力者用の授乳スペース、控室は少人数教室を利用する。
- ・赤ちゃんに触るため、手指消毒のためのアルコールを準備する。
- ・ママ達に聞きたいこと、質問項目については学校に依頼し、生徒に事前に考えてもらう。

3 本郷小学校からの健康教育依頼

1/30に小学校4年生の3クラスを対象に、助産師が授業を行う。

4 その他

児童虐待予防研修会を1月15日に開催した。

→難しい部分もあったが、全体的に理解しやすい内容。さらに詳しい対応の部分など再度聞いてみたい先生であった。

5 次回日程

2月20日 15:30～

平成 29 年度 第 6 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 議事録

平成 30 年 3 月 20 日 15:30～新館 2 階

1 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

2 啓発活動について

日時	内容	場所	配布数
6 月 2 2 日	児童虐待防止連絡会	区役所	2 2
8 月 4 日	赤ちゃんふれあい体験 (中野)	中野ケアプラザ	2 0
8 月 18 日	赤ちゃんふれあい体験 (小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	1 1
8 月 23 日	赤ちゃんふれあい体験(笠間)	笠間ケアプラザ	1 7
9 月 2 日	ステーションまつり	ステーション	4 0 0
9 月 22 日 29 日	孫育て講座		5 0
11 月 11 日	区民祭り	本郷中学校	5 0 0
11 月	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	1 0 0
12 月 10 日	虹のふれあいコンサート	公会堂	3 0 0
1 月 16 日	豊田子どもの居場所づくり勉強会		1 9
1 月 20 日	本郷中央地区民児協定例会	本郷地区センター	3 1
1 月 20 日	本郷第 3 地区民児協定例会	中野地域ケアプラザ	2 0
1 月 26 日	小菅ヶ谷地区民児協定例会	公団集会所	2 4
1 月 27 日	豊田地区民児協定例会	豊田地域ケアプラザ	3 1
2 月 24 日	上郷東地区民児協定例会	庄戸中コミハ	1 9
2 月 24 日	上郷西地区民児協定例会	野七里地域ケアプラザ	1 6
2 月 24 日	笠間地区民児協定例会	笠間地域ケアプラザ	1 8

3 西本郷中学校授業について (振り返り)

(1) 参加した生徒からの感想

※生徒からのメッセージ資料参照。

(2) 主任児童委員会での振り返り報告

(全体)

- ・ 念願の授業を開催できてとてもよかった。ぜひ継続したい。
- ・ 開催の時期が寒い時期でできれば気候の良い時期が望ましい、と意見出されたが学校のカリキュラム的に難しいか。
- ・ 参加している母から「何のために行っているのか」との質問あり。
⇒参加協力依頼の際にチラシ配布し説明していたが、知人から聞いて参加申し込

みされた方もいるため一部十分に伝わっていなかった可能性あり。

(内容)

- ・生徒、参加母に対し、本日の目的、全体の流れ、方法を明確に丁寧に説明することが大切。
- ・妊婦ジャケット体験については、生徒たちへ実施方法の説明を丁寧に行った方がよい。時間に余裕があったので、最初にモデル的に実演してもよかった。今回はスペースの関係上実施できなかったが、階段、寝転ぶなどの動作ができるとより良かった。
- ・赤ちゃん人形の抱っこでは人形の扱いが乱暴だったり、ふざけてしまった生徒がいた。使い方や何を人形で行うかの説明が必要。
- ・ふれあい体験は生徒の反応もとてもよかった。グループに分かれての交流の場面で、主任児童委員や民生委員がどう対応しているのかとまどった場面があった。生徒からの質問はやはり出なかった。学校で事前に聞きたいことなどを提出してもらえるとよい。
- ・スタッフへの事前説明が大切。

(3) 他区や他学校の(世代間交流)取り組みの状況

- ・西区：全中学で実施。学校でも定着。
- ・緑区：実施して長い。2校は子育て支援拠点が中心で実施。赤ちゃんふれあい体験が中心。開催の目的を常に確認し継続していくことが大切と助言あり。
- ・上郷中：保育園、幼稚園との交流
- ・桂台中：保育園、朋との交流

(4) 全体の評価及び課題

- ・前半だけの申込みだった母子が、後半も参加してくれるなど、参加した母にも、普段交流しない年代の生徒とふれあえて、とても好評だった。
- ・「ふれあい体験」は双方にとって良い機会になっている。
- ・学校側との連携が深まり、役割分担が明確になると運営がスムーズになるのではないか。事前学習でのアンケートや対応に配慮が必要な生徒さんには、先生が見守りしてもらうなど、少しずつ改善していくよう連携していく。
- ・今後、開催校を広げていく。方法としては学校の状況に合わせる。
基本は、助産師、地区担当保健師、雇用助産師、地区主任児童委員民生委員のスタッフで対応できる内容を検討していく。
- ・民生児童委員にも積極的に報告し協力体制をつくっていく。

4 今後の活動について

- ・今回の西本郷中学校の「いのちの授業」報告資料を作成。(目的、流れ、内容、写真、生徒、養育者の声)
- ・5月の校長会、6月の専任会で報告し、学校数を拡大していくためのPRを行う。
- ・各学校でも様々な取組を行っているので、各学校の状況の確認を行っていく。
学校訪問等で主任児童委員と地区担当保健師であいさつに出向き、報告資料を用いて説明も行っていく。
- ・各地域の民児協会議への参加も継続して実施する。10~11月頃に予定。
- ・8月の育児教室での「赤ちゃんふれあい体験」は継続していく。

5 その他

- ・特になし

6 次回日程

- ・4月24日(火) 15:30~ 区役所新館 201

平成 29 年度 第 1 回 栄区セーフコミュニティ
高齢者安全対策分科会 議事録

○ 日時

平成 29 年 7 月 18 日 (火) 午後 2 時～ 4 時

○ 会場

栄区役所 本館 4 階 2 号会議室

○ 出席者 (50 音順)

加藤委員、兼武委員、川島委員、今野委員、佐野委員、関委員、竹谷委員、田崎委員、
田辺委員、谷委員、塚本委員、富永委員、中嶋委員、福田委員、山崎委員、山本委員、
湯瀬委員 (欠席 江口委員、篠原委員、田中委員)

事務局 : 市川係長、赤城、足立原、浜 (書記)

1 あいさつ

SC 高齢者安全対策分科会は、高齢者の安全・安心な生活を守るのが目的であり、行政主導ではなく、分科会メンバーが中心となり推進していくことが重要である。本会議に先立ちコアメンバーで検討した内容を本日提案させていただき、今年度の活動方針を決めて推進していきたいと考えている。

2 分科会委員自己紹介

3 議事

(1) セーフコミュニティの組織構成について (資料にそって説明)

(2) 事前指導会について (資料にそって説明)

- ・ 事前指導は 9 月 10 日 (日) 12:45～13:45 の予定。詳細が決まり次第お伝えする予定。ご都合のつく分科会委員の方へ出席を依頼したい。

(3) 平成 29 年度高齢者安全対策分科会の取組について (資料にそって説明)

- ・ 転倒予防の出前講座後のアンケートについて。対象は 32 団体、733 人 (前回集計時点では 15 団体、320 人) 傾向については大きな変化はない。今年度後半に事後アンケート実施予定。また、ケアプラザのグループを対象に、事前・事後アンケートを実施し、関わりによる変化を見ていく。
- ・ 転倒予防啓発講演会について。平成 30 年 1 月 12 日 (金) 午後、栄区役所で開催予定。啓発のリーダーとしてご活躍いただけそうな方へ、各団体から周知をお願いしたい。
- ・ 区民まつりは 11 月 11 日 (土) 開催予定。昨年と同様に SC ブースでヒートショックの啓発を予定。
- ・ 強化月間については、案のとおり了承。各団体での活動の中でご協力をお願いしたい。

(4) 各団体・地域での活動報告・集約について (資料にそって説明)

- ・ 昨年度開催した分科会での依頼内容を確認。今年度も引き続き、啓発の実施と活動後の報告をお願いしたい。報告の流れについては、事務局で見直す。7 月中に周知依頼していく。

【意見交換】

- ・ 転倒予防体操の活動報告書の提出方法について

- ・ ヒートショックの啓発物品について

- 4 意見交換（今後の活動、強化月間の取組について）
各分科会委員から、所属団体での SC 活動予定について発言

平成 29 年度 第 2 回高齢者安全対策分科会議事録

日時：平成 30 年 3 月 26 日（月）14 時～16 時

場所：栄区役所 本館 3 階 3 号会議室

【出席者（敬称略）50 音順】

分科会委員：和泉（中嶋委員代理）・兼武委員・川島委員・今野委員・佐野委員・関委員・竹谷委員・田崎委員・田中委員・谷委員・塚本委員・福田委員・山崎委員・山本委員・湯瀬委員

事務局：角田・市川・濱・足立原・赤城

1. あいさつ

2. 議事

（1）平成 29 年度高齢者安全対策分科会の取組について（資料にそって報告）

①転倒・転落予防啓発

- ・地域のイベント（敬老の集い）等、機会を捉えて実施した
- ・元気づくりステーション、筋トレ自主会が各グループで体操を取り入れた
- ・取組強化月間を設定したが、通年で取り組んだ

②ヒートショック啓発

- ・大きな講演会等の形式でなく、訪問等個人配布の形にシフトしている。
リーフレット配布数は増加。
- ・取組強化月間にメリハリをつけて行った。

③転倒予防実績について

- ・（意見）転倒予防実績について、報告が漏れているグループがある可能性が高い。

④ヒートショック実績

ヒートショックについては段々と根付いてきている印象がある。個別配布が効果的で、リーフレット配布数は増加している。

⑤支援者向け転倒予防講座報告

講師が指導案を作成し、講座開催。講習会実施後、昼食会等で実施報告あり。

⑥区民まつりでの啓発報告

（2）セーフコミュニティ再認証について（資料にそって説明）

①事前指導時の審査員意見の報告

②再認証について（セーフコミュニティ現地審査日時等）

③再認証資料（パワーポイント）の修正・追加部分を中心に説明

（3）平成 30 年度高齢者安全対策分科会の取組について（資料にそって説明）

①30 年度高齢者安全対策分科会の開催予定、取組内容の確認。

（転倒予防支援者向け講座の内容等）

3. その他

- ・コアメンバー増員の承認
- ・次年度分科会委員の変更について

以上

平成 29 年度 第 1 回災害安全対策分科会	
日 時	平成 29 年 5 月 16 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 30
開催場所	栄区役所 本館 4 階 2 号会議室
次 第	1 平成 29 年度 災害安全対策分科会委員の承認について 2 平成 29 年度 災害安全対策分科会副座長の設置について 3 平成 29 年度 災害安全対策分科会副座長の選任について 4 地域防災拠点訓練実施状況について 5 地域防災拠点運営委員会連絡協議会への提言について 6 地域防災拠点訓練ツアーについて 7 水害対策について
議 事	1 平成 29 年度 災害安全対策分科会委員の承認について 事務局 平成 29 年度災害安全対策分科会を開催するにあたり、各団体の人事異動により委員の交代がありました。改めて委員の皆様をご紹介します。地域防災拠点運営委員会連絡協議会の毛利さまです。地域防災拠点運営委員会連絡協議会の石山さまです。栄消防団は加藤さまが委員ですが、本日は所要により長沼さまに出席いただいております。長沼さまです。栄区火災予防協会の小石さまです。栄区自衛消防隊連絡協議会の武田さまです。小学校長会の坂本さまです。このたび人事異動で交代されました、栄区社会福祉協議会の中嶋さまです。中学校長会の岡田さまです。説明は以上です。 磯崎座長 ご承認いただけますでしょうか。ご賛同いただける方は拍手にてお願いいたします。 全員 異議なし 磯崎座長 それではこのメンバーで今後、分科会を進めていきたいと思えます。
	2 平成 29 年度 災害安全対策分科会副座長の設置について 事務局 今年、事前審査、来年の本審査に向けて、本分科会の正念場であります。この期間を無事に経過し、認証を受けるためには分科会の強化が必要と考えます。そこで、副座長を設置することにより、座長の補佐として組織

	の強化を図りたいと思います。 説明は以上です。
磯崎座長	この件についてご承認いただけますでしょうか。 ご賛同いただける方は拍手にてお願いいたします。
全員	異議なし
3 平成 29 年度 災害安全対策分科会副座長の選任について	
事務局	本分科会において、地域防災拠点との連携は不可欠であり、地域防災拠点運営委員会連絡協議会から参加されている毛利さんが当分科会の副座長として適任と考えますが、いかがでしょうか。
磯崎座長	この件についてご承認いただけますでしょうか。 ご賛同いただける方は拍手にてお願いいたします。
全員	異議なし
5 地域防災拠点運営委員会連絡協議会への提言について	
長沼委員 (加藤委員 代理)	桂台中では、転倒防止関連グッズの展示をしていたので、そういった取組はよいのではないか。
岡田委員	学校側としても賛同
座長	拠点も重要だが、それ以外の近隣の避難所の利用も必要
副区長	災害関連死を、拠点運営訓練や別教室の利用により減らしていきたい。
干場課長	消防としては、地域からの要望があればN oとは言えないが、最近の訓練内容の変化は感じている。
副座長	豊田小では、高齢者や赤ちゃん等には専用の別教室を設けて避難所を運営している。企業や施設との連携はこれからやって行きたい。
武田委員	企業としては拠点の訓練に溶け込んでいっていると感じる。 今後も積極的にかかわっていきたい。
望月係長	別教室の用意については要援護者支援の観点から進めていただけるとありがたい。
三浦係長	電柱が倒れたことで震災時道路を塞いだことがあったので、今後主要幹線には新規の設置を認めない予定。
6 地域防災拠点ツアーについて	
磯崎座長	防災センターはいいところだ。 この件に関しては事務局にお任せします。

	事務局	<p>避難所については、主体性のある避難者がいるところでは上手く運営できています。しかし避難者がお客さんの状態となっているところではそうとも限りません。</p> <p>熊本市ではもともと地震をあまり想定していなかったのが、運営委員が自分たちで進めていっていいのか戸惑っていました。</p> <p>これを踏まえ熊本市では改善の方向に向け、検討を進めているとのことです。</p>
	7 水害対策について	
	磯崎座長	栄区では崖の調査は終わったのか
	伊藤係長	市の調査は終了したが、これから県の調査がある。
	副区長	崖は基本的に県が対応。なので、県の基準が必要なので県として調査を行うのでは。
	副座長	海拔の表示は沿岸の区だけでなく、全部表示してほしい。津波の心配のある個所か否かではなく、心の安定のためにも。

平成 29 年度 第 2 回災害安全対策分科会	
日 時	平成 29 年 10 月 13 日 (金) 13 : 30 ~ 14 : 30
開催場所	栄区役所 本館 4 階 2 号会議室
次 第	1 セーフコミュニティ事前指導を受けて 2 セーフコミュニティ再認証に向けてのスケジュール 3 地域防災拠点訓練ツアーの結果について 4 その他
議 事	1 セーフコミュニティ事前指導を受けて 副区長 説明にもあった、ミラーのピラミッド（4つの段階）について、これを実践しながら分科会の活動を進めていきたい。 磯崎座長 同意見。 加藤委員 拠点の訓練に行ったときに参加者の積極性に差を感じる。ぜひ積極的に取り組んでほしい。 武田委員 組織は人が入れ替わったとき、認知度はどうしても下がってしまうので、知識を継承していくことが大事だと感じる。 坂本委員 最終的には行動に移さないと意味を成さないのでミラーのピラミッドについては同意。認知レベルについて告知方法を考えていく必要がある。 三浦係長 土木としては、危機があった時は実践から入るのでピラミッドには馴染まないかと思う。 九十九澤課長 地域防災拠点については、まず存在を知ってもらうこと、そこから拠点の役割や目的を知ってもらうことが大事である。 副座長 豊田小の拠点訓練についていえば、避難所運営訓練や防災ゲームを取り入れ上手く興味を持ってもらえたかと思う。 小石委員 発災時、小さな子ども連れの母親や高齢者だけでは対応が難しい。学校などに一人二人リーダーシップを発揮できる人が居るとより効果的に避難所運営ができるのでは。 副区長 訓練参加者は現在 8,500 人ほどだが、ここから参加者を増やしていきたい。拠点の認知度を上げたい。 石山委員 防災訓練は理解されていないのが現実。笠間小では子どもも参加しているが、適切なメニューを考えていかなければならない。皆が喜んでもらえるような訓練を行うのは難しい。繰り返し繰り返し行って「またかよ」と言われたりもするが、定着させていかなければならない。

2 セーフコミュニティ再認証に向けてのスケジュール	
加藤委員	6月に本審査とあるが、これは書類審査か。
副区長	本審査ではプレゼンを行う予定となっている。訓練視察などは3月4月頃に視察場所が決定するだろう。
副座長	他の分科会で視察があるのはどこか。
副区長	交通安全やスポーツなどではある。前回、防災訓練の視察があったので、また来るかは未定。 ただしSCで防災の分野があるのは日本だけ。地震が多いのも要因として、先生方からの注目はあるのかもしれない。
3 地域防災拠点訓練ツアーの結果について	
石山委員	拠点の備蓄庫など、施設が暗いという意見が出ているが、区としての対策は何かあるか。
伊藤係長	拠点の備蓄庫の照明対策については、今後検討していく。
磯崎座長	2階に倉庫がある拠点についても、早めに解決してほしい。
4 その他	
中嶋委員	社協としては今後も、防災ボランティアネットワークと協力して市民への啓発に力を入れていきたい。
坂本委員	学区の区割りと拠点の区割りが町内会を分断しないようにしてほしい。
副区長	区だけで調整できるものではないので、市にも伝えていきたい。
小泉課長	今回は新規啓発グッズとしてホイッスル付ライトペンを予定しているが、何か良いご意見があれば事務局まで伝えてほしい。

平成 29 年度 第 3 回災害安全対策分科会		
日 時	平成 30 年 1 月 24 日 (水) 15 : 00 ~ 16 : 00	
開催場所	栄区役所 本館 4 階 2 号会議室	
次 第	1 新たな災害安全対策分科会委員の選任について 2 セーフコミュニティ再認証に向けての資料確認について 3 その他	
議 事	1 新たな災害安全対策分科会委員の選任について	
	磯崎座長	火災予防協会から新たに 1 名、角田会長を加えることについてご承認いただけますでしょうか。 ご賛同いただける方は拍手にてお願いいたします。
	委員	拍手
	磯崎座長	それではこのメンバーで今後、分科会を進めていきたいと思えます。
	2 セーフコミュニティ再認証に向けての資料確認について	
	副区長	事前指導の際、ハンソン先生から「訓練参加者が思ったほど伸びていない」と意見をいただいたので、参加者が増えそうな意見・考え方を取り入れていきたい。
	小石委員	現在の拠点の区割りを考えると、現実的に避難することは可能だろうか。指定された拠点が遠い場合、迅速に動けるのか。学校のみならず地区センターなども活用できないか。
	伊藤係長	身近な避難所として地域避難所も活用していただきたい。
	磯崎座長	区割りを調整するのはキリがない。緊急時はその時避難できる場所を増やし、活用すべき。
	副区長	現時点では取決めはできないが、いざとなったらそうせざるを得ないと思う。
	磯崎座長	協定を結ぶとかではなく、いざという時に対応できれば良いのでは。
	副区長	訓練参加者を増やすにはどうすれば良いか。
	毛利副座長	拠点で避難所の開設・運営訓練を順にやると 1 時間ぐらいで終わる。余った時間に子ども会を中心にゲームなどやったが、それも良いのでは。
	磯崎座長	訓練をそのように内容を変えていくのも良いと思う。
	毛利副座長	へりの救助を考えた場合、区内の学校も上空から学校名が分かるよう書いておくと良いのでは。
	九十九澤課	消防署については、ある年以降の建物は屋上にハママークなど

	長	対空表示をしている。
	副区長	校庭に学校名を書く訓練を行うのも良いのでは。
	磯崎座長	避難について、弱者に対する取組はどうなっているか。自宅まで救助など可能か。
	九十九澤課長	以前、区内の自治会で「朋」と共同で訓練を行ったことがあったが、個人情報の観点から現在では難しい面もある。
	伊藤係長	安否確認のお声がけを行っているところはあるが、搬送まではなかなか行っていない。
	3 その他	
	磯崎座長	今後のスケジュールについては、どのようになっているか。
	伊藤係長	6月半ばに本審査を予定している。
	副区長	4月の段階で英訳前の資料を固めたい。6月頭にはリハーサルも行いたい。また、訓練など視察の機会を設ける必要がある。6月の日程についてはまた改めて連絡したい。

平成 29 年度栄区セーフコミュニティ 第 1 回自殺予防対策分科会 議事録

日時：平成 29 年 9 月 10 日(日)15 時 15 分～16 時 00 分

場所：栄区役所新館 2 階

出席者委員 牛尾委員・臼井委員・小田原委員・川島委員・猿山委員・田中伸一委員・二宮委員・本田委員・山崎委員

欠席委員 江口委員・庄司委員・田中豊委員

出席オブザーバー 土井原氏・深澤氏・岩田氏

事務局 林（福祉保健課長）角田（高齢・障害支援課長）・望月（事業企画担当係長）・椎名（障害者支援担当係長）
担当職員 4 名

1 開会	
座長	事前審査では、前向きなコメント、評価をいただきました。 審査の先生もおっしゃっていましたが、この取り組みは、PDCA サイクルの中で常に変化していくものですので、今後ともみなさまのお力を借りてよりよい取り組みにしていければと思います。よろしくお願ひします。
事務局	今年度の新委員、新オブザーバーの紹介 猿山委員、田中豊委員、山崎委員、オブザーバー深澤氏、小出氏
2 平成 28 年度自殺予防対策取組実績	
事務局	資料 1 説明
座長	昨年度の取組報告で、質問などございますか。
	なし
3 (1) 平成 29 年度自殺予防対策の取り組みについて	
座長	よろしいでしょうか。それでは、議題にうつります。 「(1) 平成 29 年度自殺予防対策の取り組み」について、事務局より説明お願ひします。
事務局	資料 2 説明
座長	ありがとうございました。昨年度からの先生はお気づきかもしれませんが、事前審査に備えて、3つのステップごと、活動の取り組み、評価など具体的に明示するようにし、わかりやすくなったと思います。 委員の先生から、ご質問、ご意見ございましたらお願ひします。特に初めての委員の方は、わからないところもあると思いますので、おっしゃってください。
牛尾委員	取組①STEP 1 の 2 「広報誌への掲載」というのは単発なのでしょうか。
事務局	セーフコミュニティの各分科会を毎月取り上げています。9月に自殺予防週間があるため、9月号に掲載となりました。掲載にあたっては、牛尾委員にご協力いただき、ありがとうございました。

座長	自殺予防デーが 9 月にあるから、9 月にしたということですね。 他にはございませんか。
田中伸一委員	ゲートキーパーの育成の中で、ハートフルサポーター育成研修があります。保健活動推進員も 1 月に行うのですが、インターネットでセーフコミュニティ関係を見ていたら、十和田市が出てきました。十和田市でも自殺予防に取り組んでいるが、東北地方は自殺率が高いようです。その中で、“傾聴”ということに、力を入れているようでした。栄区でも以前に初級の講座を受講した方対象に、傾聴を中心にした発展編をした記憶があるので、今年度はこのままだと、今後、サポーターの活動を考えると傾聴に関して学ぶ機会があるといいのかなと思いました。
座長	田中委員から、他のコミュニティでの自殺予防に関する情報いただきました。そこから、栄区でも取り組めるのではないかとということです。事務局でも、時々、他の自治体の活動にも気を配り、いいところを吸収するようなことはありますか。
事務局	十和田市の取組は把握しておりませんでしたので、今、携帯で検索してみたところですが、弘前大学の先生と研究されたようですね。
座長	栄区も高齢化率が高くなってきていますので、孤独にさせない取組の中に「傾聴」ということを意識するのは、非常に大事だと思いました。サポーター育成の研修の中に取り入れてはどうかというご意見でしたけれども、それ以外のことでも、何かあれば改善していければと思います。
事務局	これから企画するとき、参考にしていきたいと思います。
座長	ほか、ご意見等ございませんでしょうか。 ないようでしたら、議題（2）9 月の啓発キャンペーンについて、事務局から説明をお願いします。
3（2）平成 29 年度 9 月啓発キャンペーンについて	
事務局	資料 3 説明
座長	これは、大船駅の栄区にある改札側で行うということですね。
事務局	そのとおりです。今回も、鎌倉・逗子・葉山の実行委員会の方にもお声かけしましたが、9 月の実施はしないということでしたので、栄区のみの実施となります。
座長	もし、お時間ございましたら、委員のみなさまもご協力をお願いします。 このキャンペーンに関して、よろしいでしょうか。 それでは、（3）自殺ハイリスク者支援対策検討部会について、事務局よりお願いします。
3（3）自殺ハイリスク者支援対策検討部会より	
事務局	資料 4、資料 5 説明
座長	ありがとうございました。 栄共済病院には、病院で配布するというので、調整はできているのでしょ

	うか。
川島委員	話はしてありますので、受診された外来などで、看護師が説明をしていくような形になる予定です。
座長	今日の事前指導でもありましたが、病気を持っている方というのは、ハイリスクに傾く場合がございます。なかなかデリケートなパンフレットなので、置き場所など検討は必要かもしれませんが、もう少し対象を広げ、医師会にもご理解いただいて、各医院やそのほか置かせてもらえるところがあるか、相談してみたらどうでしょうか。
牛尾委員	生活支援センターの掲載する電話番号を、「0479」に変えてほしいです。
事務局	修正します。
座長	相談につなげたい、という意図がわかりやすく書かれているパンフレットという印象です。電話番号はすべて、確認して、内容等に関するご意見があれば事務局へご連絡をお願いします。期限はいつごろまででしょうか。
事務局	9 月中にいただければと思います。電話番号もですが、表現、言い回しなども気を遣うので、ご意見いただきたいです。
座長	では、ご意見あれば 9 月中に事務局にだしてください。届いたご意見は事務局から私の方にフィードバックしてください。それで確定し、発行していきたいと思います。 伝えたいことはたくさんあるけれど、読んでもらって、使ってもらわないと意味がないことを考えても、個人的には、なかなかバランスがとれているという感想です。 成果物もですが、検討部会ができてから、働きかける対象や場所が明確になってきているのは、これまでの積み重ねのたまものだと感じています。 それでは、「4 その他」に移ります。健康福祉局からご説明をお願いします。
4 その他	
健康福祉局	資料 6 自殺総合対策大綱の見直し 説明
座長	新たな自殺大綱では、「地域」「生活での包括的支援」を含んでいますが、栄区では大綱が出る前から、実践、推進しているという意味では先駆的ですし、方向は間違えていない、むしろモデルとなるような形で進めることができていると考えています。
健康福祉局	資料 7 横浜市記者発表資料「みんなでゲートキーパー宣言！」 説明
座長	依存症も自殺とは非常に関係していますし、国の精神保健福祉の在り方でも IR 法案に関連して、依存症への対応を行政で進めていくことになっていきますので、よろしくお願いします。 本日、用意していた内容は以上です。全体をとおして委員のみなさまから何かございますでしょうか。
二宮委員	リーフレットを配布するにあたって、医師会でもできたらというお話があり

	<p>ましたが、ぜひ、薬剤師会の薬局でもご協力できたらと思います。</p> <p>事前審査資料の中で、自殺の動機と病歴とありますが、薬と一緒に結びつくようなそんなデータはないかなと思って見ていました。医師は診断しているかもしれないですが、薬剤師は、うつ病なのか、そのほかの病気なのかわかりづらいのです。自殺を図った方が、どういう部類の薬を飲んでいるのか、などという傾向がわかると、「できる、できない」の壁はあると思いますが、啓発しやすいと思いました。</p>
座長	<p>自殺企図者が直前にどういった精神疾患に罹患していたかというデータはでてきていますが、実際にどういう薬を、という関係はなかなか出てきづらいと思います。服用している薬の直接的な原因で自殺が引き起こされたのかという因果関係が難しいということが一点ありますが、重要な指摘で、抗うつ薬というのは結構な種類、思春期の方に使うと自殺企図のリスクがあがるという内容が薬剤の添付文書に盛り込まれています。なので、処方する側は十分に注意して使わなければならないということになっています。しかし、それを処方箋ベースのデータと自殺の発生ということを結び付けるような調査が行われると、特定の製薬会社に影響を及ぼすというデリケートな問題もあるので、難しいと思います。ただ、自殺未遂者、既遂者の 9 割は直前に精神疾患の診断がつくというデータがありますので、どういう精神疾患でかかって、薬局から処方されているような方はハイリスク群であるということはあると思います。なので、薬局にリーフレットをおかせていただくということは、重要だと思いました。</p> <p>ほか、ございませんか。</p>
座長	<p>それでは、分科会を閉会します。ありがとうございました。</p>

平成 29 年度栄区セーフコミュニティ 第 2 回自殺予防対策分科会 議事録

日時：平成 30 年 3 月 12 日(月)10 時 30 分～12 時 00 分

場所：栄区役所新館 4 階 8 号会議室

出席者委員 牛尾委員・小田原委員・川島委員・猿山委員・庄司委員・田崎委員（田中豊委員代理）・本田委員・山崎委員

欠席委員 臼井委員・江口委員・田中伸一委員・二宮委員

出席オブザーバー 土井原氏・吉田氏・深澤氏・小出氏

事務局 近藤（福祉保健センター長）・前田（福祉保健センター担当部長）・林（福祉保健課長）・角田（高齢・障害支援課長）・中村（生活支援課長）・望月（事業企画担当係長）・椎名（障害者支援担当係長）・担当職員 3 名

開会	
座長	お忙しい中、第 2 回自殺予防対策分科会にお集まりいただきありがとうございます。 開会にあたり、事務局から資料の確認などお願いします。
事務局	（資料確認） （名簿訂正 笠間地域ケアプラザ 出席者の訂正）
座長	それでは、次第にそって進めてまいります。
1 平成 29 年度栄区の自殺予防対策の取組について	
事務局	資料 1 説明
座長	今年度の活動、取組についてご報告いただきました。 最初にありましたように、傷害サーベイランス分科会などのご指導もありまして、昨年 of 事前指導の際に、取組のステップ、指標を定めています。事前指導もありましたので、委員のみなさまには内容の概要はご理解いただいていると思います。今から大幅に変えることは難しいですが、ご意見あれば事務局までお願いします。資料 1 について、何かご質問などございますでしょうか。
座長	★印は何の意味でしょうか。
事務局	2 ページの上部に記しているのですが、9 月時点で予定していなかった取組について★をつけています。
座長	内容については、このあとでもご説明があると思いますので、議題 2 にうつります。
2 栄区セーフコミュニティ再認証について (1) プレゼン資料について	
事務局	資料 2 説明
座長	ありがとうございました。 確認をしたいのですが、スライド 33 取組 3 のところで、「自殺者に関与し

	ていた支援者の延べ人数」と書かれていますが、「関与していた支援機関の数」とご説明されておりましたように思うのですが、どちらでしょうか。
事務局	失礼しました。記載されているとおり「支援者の延べ人数」が正しいです。
座長	「支援者の数」ですね。もし、「支援機関の数」ですと、存在する機関の数は限られていて、それ以上増えないわけですから、指標として無理がありますが、支援者の数ならば、1つの支援機関の中で複数の職員が関与しているということがありうるということです。 実際の自殺者というのは、今のアンケートの取り方では、重複していること、個人情報保護の観点からも把握が難しいということですね。 そのほか、何かございますか。
吉田オブザーバー	スライド 19 について教えていただきたいのですが、「自殺を口にする人は本当に自殺はしない」とあるのですが、精神保健に長年従事していますが、その経験の中では、最近では自殺を口にしない人が急に亡くなったりということもあります。そういう中で、「自殺を口にする人は自殺しない、というのは誤った認識」ということですが、何かデータがあるのかなのか、どういう風な調査の結果なのか、そういう根拠がなければ、これが誤った認識だと言えるのか、そこを教えていただきたいです。
座長	デリケートなものなので、地域住民を対象としたものはないのですが、うつ病や精神障害者を対象として行われた研究はあります。通院患者という限定した対象群ではありますが、経過中に主治医なり近親者に「死にたいと口にした」「死にたいと口にしていない」の 2 群でその後の自殺率をみたとき、自殺を口にした人が自殺をしないということがない、つまり、自殺の発生率にかわりはないという結果があります。ですから、「自殺を口にする人は本当は自殺をしない」をいうのは誤っているのです。 「自殺する」と口にするのは、助けを求めているサインでもあります。口にしない人は、どういう時点で、どう介入するかが難しいですが、少なくとも口にした方はサインを出しているのですから、介入ができるわけですから、「自殺を口にする人は、本当には自殺しないから支援しなくていい」とはならないのです。まして、その人は自殺しない、という返し方は、その方の尊厳を傷つけることにもなりますし、余計に後押ししてしまう危険もあります。 なので、この質問に「そう思う」は誤っているということになりますね。 では、次の議題に移ります。
2 栄区セーフコミュニティ再認証について (2) スケジュールについて	
事務局	資料 3 説明
座長	今回のプレゼンをするのは誰になるのでしょうか。
事務局	本審査のプレゼンは、事前指導のときと同様に、小田原先生、田中伸一委員にお願いしたいと考えております。

座長	委員のみなさま、お時間があえげば、いらしていただければと思います。 どうぞよろしくお願ひします。 スケジュールについて、確認事項ござひますか。 よろしければ、次の議題に移ります。
3 市自殺対策計画の策定について	
健康福祉局	資料 4 説明
座長	ありがとうございました。 わかる範囲でかまひませんので、質問してもよろしいでしょうか。 今度の大綱で具体的な数値目標、30%減少や人口あたり何人以下に減らすという数字がでてゐるのですが、横浜市としてはどれくらいの減少を数値として出してゐるのでしょうか。
健康福祉局	国で定めてゐる目標のもととなる 27 年の自殺率より、神奈川県 <small>の</small> 自殺率が低くなつてゐます。横浜市で考える中では、神奈川県 <small>の</small> 数値にあわせたような形になるかと思ひます。
座長	ありがとうございます。 横浜市を踏まえて、栄区も取り組んでいくということですね。
事務局	区として計画は作りませんが、取組の内容については、横浜市 <small>の</small> 計画に基づいて整理してゐたいと思ひてゐます。
座長	ついでに、資料 5 についてご説明をお願いします。
健康福祉局	資料 5 説明
座長	ありがとうございました。このデータは持ち帰つてよいデータですか。
健康福祉局	持ち帰つていただけます。
座長	推奨される重点パッケージに自殺特性 <small>の</small> 評価を加えて、具体的な取組を地域で考えていくということでは、セーフコミュニティ <small>の</small> 本分科会にとつて、非常に重要なデータを提供いただきました。 確かに、高齢者や生活困窮者、勤務経営者 <small>の</small> 業務上ストレス、若年 <small>の</small> 女性などの育児ストレスや生活困窮が加わるような事例など、分科会でもこれまで課題として取り上げてきたようなことが、実際にリスク要因として出てゐるということですね。こういったデータも参考にしながら、本分科会で取組んでいければと思ひます。委員のみなさまからこのデータについて、何かご質問ござひますか。
座長	それでは、最後の議題です。
4 その他	
座長	その他ですが、事務局から何かござひますか。
事務局	特にござひません。
座長	委員の方から何かござひますか。
吉田オブザーバー	資料 5-1 の 3 ページ「全般的な状況」で自殺統計 自殺者数が H25 年から 26 年にかけて 10 人減少してゐます。どのようなことが起因で減少して

	いるのか、横浜市、栄区で減少している理由としてどのようなことが考えられるのでしょうか。
健康福祉局	減少しているのは、全国的には景気がよくなっていることなどがあげられます。栄区ですと、区内での取組が広がっていることなどもあげられると思います。
吉田オブザーバー	セーフコミュニティで活動していることが、少しでも自殺者数の減少に影響しているということであればと思いました。
座長	このセーフコミュニティの取組が、主導的に自殺者数の減少に寄与しているか見えてこない部分がありますが、信じて継続して取り組んでいくことが大切だと思います。
吉田オブザーバー	セーフコミュニティの住民の認知度は、今は何%でしょうか。
事務局	40%ほどです。
吉田オブザーバー	では、以前よりあがっているんですね。
座長	それも地域のみなさまの普及啓発の成果でしょうし、なにより重要ですので今後ともご協力よろしくお願ひします。 それでは、分科会を閉会します。ありがとうございました。

平成 29 年度 第 1 回 防犯対策分科会会議録

日 時	平成 29 年 8 月 7 日 (月) 午後 1 時 30 分から
開催場所	栄区役所本館 4 階 2 号会議室
出席者	委員：保坂、臼井、岡田、西川、折田、吉野、田崎 (敬称略) 事務局：早乙女、吉田、樋下田
議 事	<p>1 栄区セーフコミュニティ事前指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より 9 月 9 日 (土) と 9 月 10 日 (日) に行われる事前審査までのスケジュールや、審査当日に使用する資料について説明があり、内容の確認をした。 ・新たに委員になられた方に、座長などからこれまでの経緯の説明があった。 ・事前審査後の本審査へ向けたスケジュールの確認をした。 <p>2 振り込み詐欺に関するアンケートの実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が作成したアンケート内容について確認した。内容については、おおむね問題ないが、最近増加しているキャッシュカード交付詐欺についてもアンケートに入れてほしいと意見がでた。 ・アンケートの取得方法については、高齢者の被害者が多いことから、構成団体であるシニアクラブの会員にお願いする案が事務局からでた。シニアクラブとしては、できる限り協力するが、シニアクラブだけでは、データのサンプルとして少ないのではと意見がでた。 ・事務局から上記について、キャッシュカード交付詐欺の追記と、今後アンケート回収については、ケアプラザ等も検討すると説明があり、了承された。 <p>3 平成 29 年度防犯対策分科会の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、広報 12 月号で特集記事を掲載すること、キャンペーンによる啓発、作成した啓発物品等について説明があり、確認した。 ・引き続き振り込み詐欺について重点的に取組んでいくことの確認と、区内の全犯罪認知件数の約 3 割を占める乗り物の盗難対策についても、今後検討していくことでも了承した。 <p>4 各団体における取組みの報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄防犯協会の活動報告や、栄防犯指導員協議会の活動報告、警察が金融機関と取り組んでいる対策について報告があり、情報交換をした。
資 料	<p>1 栄区セーフコミュニティ事前指導について</p> <p>2 栄区セーフコミュニティ事前指導当日スケジュール</p> <p>3 アンケート (案)</p> <p>4 事前審査資料 (パワーポイント)</p> <p>5 平成 29 年度 防犯対策分科会事務局 (地域振興課) における取組</p> <p>6 栄区町別の街頭犯罪等認知件数 (平成 27・28 年分と平成 29 年 6 月末現在)</p>

平成29年度 第2回 防犯対策分科会会議録

日 時	平成30年1月25日（木）午前10時30分から
開催場所	栄区役所本館4階1号会議室
出席者	委員：保坂、臼井、岡田、折田、吉野、（敬称略） 事務局：早乙女、樋下田
議 事	<p>1 栄区セーフコミュニティ事前指導の講評要旨について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より9月9日（土）と9月10日（日）に行われた事前審査で、審査員から受けた講評についてまとめた資料について説明があり、内容の確認をした。 また、認証取得のための7つの指標についても、改めて確認を行い、それに沿った資料作成を行っていくことで、意見を一致した。 <p>2 再認証に向けた今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より来年度行われる本審査に向けたスケジュールについて説明があり、内容を確認した。 スケジュールを考慮し、事前審査で使用した資料の大幅な変更はないが、審査員からのアドバイスをもとに資料の追記、口頭での説明で補足することで一致した。 また、審査員は海外の方（事前指導はオーストラリアと韓国）なので、振り込め詐欺などを説明する際は、その国の文化なども考慮して説明をしていくことで一致した。 本審査について、事務局から候補日が2つ出されているが、まだ候補が確定する日すら決まっていないので、確定次第、速やかに情報共有することで一致した。 <p>3 振り込め詐欺に関するアンケートの実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より、前回の防犯対策分科会でも議題にあったアンケートについて、栄警察署生活安全課にも確認を行い、新たに手口を追記するなど変更をしたことの説明があり、内容を確認した。 アンケート内容については、ほとんどの内容が網羅されており、このアンケートを回答することで、振り込め詐欺の防犯対策も知ることができるのでとてもよい。ただ、デザインが一见するとアンケート用紙とわかりにくいので、冒頭にアンケート用紙とわかるようにデザイン変更すること、アンケート用紙がどこの組織のものかわかるように、用紙の最後に「防犯対策分科会」と記入することで一致した。 アンケートの実施方法について、どのようにすることが効果的かとの意見がでた。事務局からは、今回の会議でアンケート内容の了承が得られれば、まだ調整はできていないが、区内の施設の翠風荘やケアプラなどに依頼をしていくことや、シニアクラブの方に協力していただきながら進めていくと説明があったが、今後のステップアップとして、地区センターやぷらっと栄でもやれたらとの意見があり、今後の課題として確認をした。 また、仮に施設から許可が出た場合に、何部アンケートを置くかについて意見があった。事務局からは、多くの方に回答していただけたほうがいいので、各施設100部ほどやれたと考えているが、施設によっては、もっとほしい・多すぎる・スペースがないなどの意見があると考えられるので、その施設と調整をしながら設置部数については決めていくことで一致した。

	<p>4 平成 29 年度防犯対策分科会の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、広報 12 月号で特集記事を掲載したこと、区民まつりでの啓発、防犯灯の修繕連絡、作成した啓発物品や作成中の啓発物品について説明があり、確認した。 ・広報での特集について、前回の防犯対策分科会でも、自治会町内会や団体に加入していない人にも啓発をできないかと意見がでていたので、全世帯に配布できる広報を使ったこの取組みはよかったと意見があった。 ・振り込め詐欺防止シールについて、事務局からすでに作成できていると説明があったが、せっかく作成できているので、早急に配布をしてほしいと意見がでた。配送方法についても、自治会町内会経由や広報と一緒に配布はできないかなどの意見があったが、事務局からは、いただいた意見を踏まえて、なるべく早く配布できるように調整すると説明があり、確認した。 ・作成中の回覧板について、デザインがとてもよく、目立つものになっていることと、交通安全対策分科会と連携していることがよいと意見があった。 <p>全自治会町内会に配布するののかとの意見がでたが、回覧板は単価が高く、数も 500 部しか作成できなかったため、現在使っている回覧板が破損などで使えなくなった場合に配布すると事務局から説明があり、その方法で一致したが、一つの自治会や町内会に偏らないように、配布をしたほうがいいのかとの意見もあったので、それも考慮しながら配布することで一致した。</p> <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年は、振り込め詐欺の件数や被害額も多く、メディアにも多く取り上げられたことや、新たな手口や傾向について意見交換をした。
<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄区セーフコミュニティ事前指導の講評要旨 2 再認証に向けた今後のスケジュールについて 3 振り込め詐欺に関するアンケート（案） 4 平成 29 年度 防犯対策分科会事務局（地域振興課）における取組 5 栄区町別の街頭犯罪等認知件数（平成 27・28 年分と平成 29 年月 12 月末現在） 6 新聞記事・神奈川県からの情報提供 7 回覧板デザイン案